

国際シンポジウム「中国における環境技術の普及に向けた国際協力」

日時：2006年3月19日（日） 10-17時

場所：フォレスト仙台（宮城県教育会館）第1・第2会議室

<http://www.nissoken.com/s-map/251-8.html>

主催：東北大学学際科学国際高等研究センター「中国におけるCDM普及に向けての学際的研究」プロジェクト

入場無料

中国はめざましい経済成長を続けていますが、それと歩調を合わせるかのように深刻な環境破壊が生じています。内陸の中部に位置する山西省は石炭や鉄鉱石の産地であり、石炭産業、コークス製造業、鉄鋼業、電力産業といったエネルギー・素材産業が盛んですが、それらの産業に起因する大気汚染、水質汚濁、粉塵等の被害は、市民生活を脅かし、産業の発展それ自身の基盤をも掘り崩そうとしています。

私たちは、山西省を主要な対象地域として、コークス産業へのクリーン開発メカニズム（CDM）の適用、鉄鋼業の技術改善とリサイクル、大気汚染削減のための国際協力を中心に、環境技術の国際移転と、中国国内での普及について研究を行ってきました。

山西省の環境問題は、日本とも大きく関わっています。浮遊物質は山西省を通過して日本に飛来します。日本の発電所は山西省の石炭を使い、製鉄所は山西省のコークスを使っています。日本人ビジネスマンがはたらく北京の明かりも、一部は山西省で石炭を燃やして発電された電気によるものです。中国山西省の環境問題は日本の問題でもあり、アジア共通の課題なのです。

東北大学学際科学国際高等研究センターは、部局の枠を超えた学際的プロジェクトを行うためのセンターです。私たちの研究の特徴は、自然科学者と社会学者、民間の技術者が協力した学際性にあります。例えばCDMは京都議定書で定められた温暖化ガス排出削減のための制度の一つですが、中国で省エネ技術の導入によって温暖化ガス排出を削減することにより、売却可能な温暖化ガスクレジットを発生させます。それによって、通常のビジネスでは採算が合わずに採用されない環境技術が、中国企業に採用されやすくなるのです。CDMの可能性を探るためには、導入する技術の工学的研究と、技術導入を地球温暖化ガス排出権の生成にむすびつける経済的条件の研究が必要です。そこで、私たちは専門を超えたプロジェクトを組んできたのです。

私たちのプロジェクトは3月で終了します。この機会に、研究成果を結集した公開の国際シンポジウムを行い、多くの方々といっしょに中国での環境技術普及と、そのために可能な国際協力について考えて参りたく思います。おおぜいの方の参加をお待ちしております。

シンポジウム事務局
東北大学大学院経済学研究科
川端望研究室
Tel&Fax 022-795-6279
kawabata@econ.tohoku.ac.jp

プログラム

10:00-10:20

大村 泉 (プロジェクト代表。東北大学大学院経済学研究科)

国際共同研究の成果と今後の課題について

10:20-10:40

川端 望 (東北大学大学院経済学研究科)

中国鉄鋼業 - その階層性と多様性 -

10:40-11:10

柳澤 文孝 (山形大学理学部地球環境学科)

安定同位体からみた山西省の大気成分

11:10-11:50

柳澤研究室によるポスターセッション

11:50-13:00

昼休み

13:00-13:20

明日香 壽川 (東北大学東北アジア研究センター)

クリーン開発メカニズム (CDM) の現状と課題

13:20-14:00

席 宝山 (山西経済管理幹部学院)

山西省の経済、環境及び CDM 適用の可能性

14:00-14:30

川原 業三 (技術コンサルタント)

中国山西省での技術指導から

14:30-14:50

張 興和 (北海道大学エネルギー変換マテリアル研究センター)

中国山西省でのクリーン開発メカニズム (CDM) 実施について

14:50-15:00

休憩

15:00-15:40

李 春虎 (中国海洋大学化学化工学院)

活性化セミコークスによる煙道ガス脱硫研究の進展

15:40-16:00

伊藤 豊彰 (東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター)

鉄鋼スラグの中国における農業利用の可能性：山西省嵐県の調査を踏まえて

16:00-16:20

高橋 禮二郎 (東北大学大学院国際文化研究科)

アジア隣人ネットワークをめざして

16:20-17:00

総合討論

以下にもお知らせがありますが、上記メール本文が最新のタイムテーブルです。

http://www.cir.tohoku.ac.jp/j/3activity/kenkyukai/17nendo/060319_oomura/symposium.html